

自衛隊のイラク派遣は成功か否か

2005年1月13日

経営学部 経営学科

f105229 種子島 匡彦

1、 問題背景

イラク派遣とは、自衛隊がイラク人の復興のために「給水」、「医療支援」、「建物の補修」をすることを前提にイラク特措法が政府で成立し派遣が成立した。2003年12月26日、自衛隊が日本からイラクに出発し、その後2004年になってからも自衛隊は続々とイラクに派遣されていき2005年6月までにのべ3000人以上が現地に向かった。2004年12月14日に派遣期限を迎える予定であったが一年延期され、その一年後とされる2005年12月14日が撤退予定日であったが、また再延長という形で1年もしくは半年の派遣期間の延期が閣議された。*II

2、 報告目的

ニュースで最近報道されている自衛隊のイラク派遣延長をみて、イラク派遣や自衛隊についてあまりにも無知な僕は自衛隊が現地の人のために何をどうしているのか知りたくなった。国内外の世論や今までのイラクで自衛隊がしてきた成果から本当にこのまま派遣延長をし続けるべきか考えてみる。

3、 問題概要

(イラク派遣の経緯)

2003年

7月26日 イラクにおける人道復興支援活動及び安全確保支援活動の実施に関する特別措置法(イラク特措法)が成立。

12月9日 派遣期間や活動内容、規模に関する「基本計画」(イラク人道復興支援特措法に基づく対応措置に関する基本計画)が臨時閣議決定。

1 2 月 2 6 日 自衛隊先遣部隊出発（～現在までに累計 3 0 0 0 人以上）

2 0 0 4 年

4 月 8 日 サマワの宿営地に迫撃砲弾のようなものが着弾。日本人 3 人が武装勢力に拉致される（イラク日本人質事件）。

4 月 1 4 日 サマワ市内で自衛隊の撤退を求めるデモが行われる。

5 月 6 日 サマワ市内で自衛隊の活動を支持するデモが行われる。

1 0 月 2 3 日 自衛隊宿営地内に迫撃弾が着弾。

1 1 月 2 日 サマワの陸上自衛隊宿営地内の荷物保管用コンテナに砲弾が貫通した疑い。

1 1 月 1 0 日 政府・与党は自衛隊イラク派遣 1 年延長の方針を固める。

1 1 月 2 2 日 イラク外相、来年末まで自衛隊駐留延長を要望。

1 2 月 9 日 派遣期間を 1 年延長する自衛隊活動の基本計画変更を閣議決定。

2 0 0 5 年

1 月 1 2 日 防衛庁は現地時間 1 1 日、陸自の宿営地内に初めて信管付きロケット弾が着弾したことを発表。けが人はなし。

1 月 2 7 日 治安悪化、オランダ軍撤退に備え、給水要員を減らし警備要員を増やすことを発表。

5 月 2 5 日 - サマワで、日本の自衛隊に反発する一部の住民らから投石される。

6 月 サマワ市内で落書きされた日章旗が張られたり、「自衛隊出て行け」といった張り紙が数度にわたって見つかる。

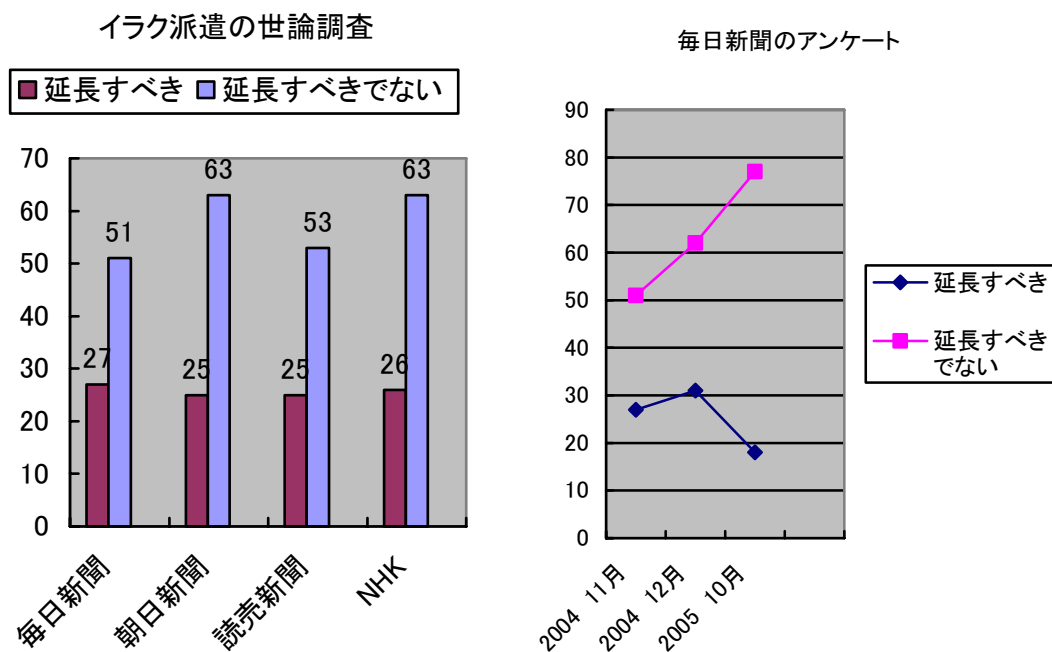
6 月 2 3 日 自衛隊の車列が仕掛け爆弾で攻撃され、高機動車一輛のフロントガラスにひびが入る。けが人は無し。

1 1 月 6 日 サマワ市内の公園で大きな爆発音が 1 回した。破壊力の弱い音響爆弾とみられ、負傷者はなかった。同公園は陸上自衛隊が復興支援で補修工事をした公共施設のひとつ。

4、世論からの検討

(現在の世論)

毎日新聞が10月8、9日に行った全国世論調査(電話)では、12月14日に期限切れとなる自衛隊のイラク派遣について聞いたところ、「延長すべきでない」が77%を占め「延長すべき」の18%を大きく上回った。昨年12月に1年間の派遣延長を決定した際は「賛成」31%、「反対」62%。昨年11月に延長の是非を聞いた際は「延長すべき」27%、「延長すべきでない」51%だった。ちなみに、朝日新聞では「延長すべき」25%、「延長すべきでない」63%。読売新聞「延長すべき」25%、「延長すべきでない」53%、NHKは「延長すべき」26%「延長すべきでない」63%と延長すべきでないという声の圧倒的だ。



(サマワの反応)

当初サマワの人々は自衛隊が派遣されることにより、雇用問題が劇的に回復されることを期待していた。そのためか派遣当初自衛隊はサマワの人々に強く支持されメディアを見る限り幸先良い出発だった。しかし蓋を開けてみると直接的な雇用の回復を期待していたサマワの住民と基礎的な社会基盤整備による復興を計画していた自衛隊との間での相違で自衛隊撤退を求めるデモが起こり始めた。そんな中一方では治安の悪化や劇的でないにしろ助けになっていると自衛隊の活動を支持するデモも行われた。

(サマワ住民の世論)

2005年1月19日に陸上自衛隊がサマワに派遣されちょうど1年になったころイラク地元紙のアッサマワが現地のムサンナ州の住民1000人を対象にアンケートを行ったその結果、日本政府の自衛隊派遣延長についての支持が78%、不支持が13%であることが明らかとなった。また、自衛隊の活動が不満と答えた人は3割いて、その主な理由は「事業が小規模」とあげた人が半数近く上回るなど大規模な都市整備などが望まれている。また自衛隊の望ましい駐留期間も、「1年」と「1年以上」で約70%以上を占め、2004年の調査結果と変化なかった。

(自衛隊が駐屯しているサマワ市民の声)

サマワ市民が派遣当初自衛隊に一番期待していたことである復興支援が思わしくなく。ついには「復興は口実、目的は米支援」とまで囁かれている。

(自衛隊のイラク派遣のメリット)

- ① 日本に様々な利益が得られる。
 - アメリカ（ブッシュ政権）に恩を売って、見返り（北朝鮮問題など）が得られるなど日米関係をより強くすることによる国益が得られる。
- ② 国際貢献のアピール。
 - 赤十字などの国際的機関が撤退した後に、自衛隊の様な部隊しか自由に活動することができないのでアピールできる。
- ③ 実戦形式の対処法を学べる。
 - 第二次世界大戦以降、軍隊を持たず実戦的な軍事活動が無かった自衛隊（日本）にとってイラクでの緊迫した空気を体験することにより国防の対処法を学べて、よりよい訓練をすることができる。
- ④ 中東での日本アピール。
 - イラクで献身的に働くことで日本をアピールし石油燃料の貿易などに好印象を与えることができる。

(イラク派遣延長に肯定的な意見)

① 自衛隊が撤退すれば、テロリストの活動が活発化し、イラク国民が危険な目にさらされる。

② 派遣地域のサマワ市民が歓迎してくれている。

(自衛隊のイラク派遣のデメリット)

① 税金がかかる。

● 自衛隊が2004年までにイラク派遣で使った税金の額は、37,700,000円(377億円) + イラク復興への無償協力費1650億円 = 2127億円

それとは別に2007年までに円借款で最大3850億円を支援する。

● 上の377億円につけたして実際イラクで支援活動をしている自衛隊員は120人たらずで、単純計算で約3.14億円が自衛隊一人当たりの派遣費用になる。

これだけの金があれば病院や学校を軽く数千作れるらしい。

② 自衛隊員が危険。

● サマワという比較的的非武装地帯ではあるが何かあってからでは遅いことと、今年に入ってからには特に自衛隊を撤退させるデモなどが活発化している。

③ テロの危険にさらされる。

● イラク派遣をしている国はやはりテロや拉致の危険にさらされる。

(イラク派遣延長に否定的な意見)

① 他国の軍隊はテロリストから攻撃を受け死亡者もでていますが日本の憲法第9条では反撃もできないので延長するなら憲法を改正してからという意見。

② このまま派遣延長をつづけるといつまでもずるずると延長が続く。

5、 総合的検討&総括

4のメリットとデメリットを比べてみて自衛隊がイラク派遣をして明確に浮き出てしまったことは、税金の多大なる給水や駐屯費用による無駄使い(日本の自衛隊が使っている分のお金でボランティアは約10000倍の給水ができる。)とその貢献にみあうようなアメリカ(ブッシュ)を始めとするG8の評価がいまいち高まってないことである。デメリットの中にあるサマワが非武装地帯というのもアメリカを始めとするG8が線を引いた地域であって危険には変わりなく自衛隊員が危ないことには変わりない。メリットとしてあげたほ

とんどが将来性長い目で見て利益があると言うものである。

3の経緯でも今年の5月からは活発に自衛隊撤退を求めるデモや、自衛隊車両や自衛隊が舗装した公園などでプチテロが起っているわけだ。いくら4で挙げたサマワ住民のアンケート（2005年1月時点）で支持率70%であっても支持率は下がっていくだろう。

これらを踏まえて私はイラク派遣をこのまま続けるべきでないという結論に達した。

6、私見 *III

これからいうことは本当に私見であって私の意見だが、私がイラク派遣について思ったのは、いかに日本を動かしているブレイン的な日本政府がアメリカに依存しているかということや、当にその国民のリーダーである某K泉首相の路線もアメリカ寄りということだ。まあ先の首相のようにあまりに独自の改革をすすめるとスキャンダルを捏造されてたたかれるわけだしちょっと前の首相は失言ばかりだったからブッシュのハチ公としてはK首相は忠実なわけだ、しかし根本を正せばその首相を選んだのは国民の代表である国会議員でありその国会議員を選んだのは国民であるわけだから仕方ないといったら仕方ない。先の選挙でも自民党圧勝だったわけだが自民党を選んだということは間接的に自衛隊のイラク派遣延長に賛同していることになるわけだから延長が決まって“Boo-Boo”言っても「じゃあ投票するな。」という気持ちになる。本題に戻ってイラク派遣は他の国が撤退・軍備縮小をしているなか延長・再延長とずるずるきていて今では派遣目的のひとつであった「給水」も完備しており駐屯する目的がいまいち見えないし、現地での自衛隊撤退のデモを考えてもいつ自衛隊の本丸に銃声が響いてもおかしくないと思うこの状況を見る限り上に続き2006年 ver があるとすれば支持率50%あればいいほうだと思えるし二人いてそのうち一人が反対ならば必要性は危ぶまれる、加えて現在の世論でもグラフを見ても分かるように圧倒的に延長すべきでない人が多数派だ。

感情論としえ訴えてしまうが突然派遣が法案で決められた自衛隊の家族の人々は集まって地方裁判所に押しかけている事実やイラク派遣が決まった後の自衛隊の入隊希望者が減った事実もある。

よって私の最終的判断は、税金面・安全面も考慮しサマワの自衛隊、国内でのテロが起これないうちにさっさと撤退すべきであるということに至ったよってもうこれ以上駐屯の延期をせざイギリス軍・オーストラリア軍の撤兵に従って足跡を濁さず帰国するのが望ましいと思います。誰が正解で誰が勝利者かもわからないし上ではK首相を批判してみたが長い目で見れば一番の正解を出したかもしれない。このことは自衛隊がイラク派遣から撤退して自衛隊が舗装した学校や病院でイラクの人の笑顔を見るまで分からないことだと思う。♪「勝利も敗北もないまま孤独なレースは続いていく」ので、私はいつかでる答えま

でこの問題を追って行きたいと思う。*IV

7、 参考文献

* I ウィキペディア フリー百科事典 <http://ja.wikipedia.org/wiki/>

レポートの骨組みとして参考

* II Yahoo!ニュース 自衛隊イラク派遣

http://dailynews.yahoo.co.jp/fc/domestic/sending_self_defense_force/

最新のニュースのため参考

* III 新ゴーマニズム宣言<13>砂塵に舞う大義 著者 小林よしのり

テーマが似ていたので参考

* IV Mr,Children Tomorrow Never Knows

歌詞盗作のため引用